

| | | | |
|--------|--------------------------------|------|---|
| 学校教育目標 | 人間性豊かで 創造性に富み たくましく生きる子どもを育成する | 経営理念 | 『 継承と創造 』 【めざす学校像】『独創教育』の理念を継承し、工夫・追求・徹底・協働によって新たな価値を創造する学校 【めざす児童像】何事も自ら進んで「正しく 強く 優しく 永く」やろうとする子ども 【めざす教師像】笑顔で寄り添い、子どもの心に共感する教職員 |
|--------|--------------------------------|------|---|

| 評価計画 | | | | | 自己評価 | | | | 学校関係者評価 (学校運営協議会による評価) | | 改善方策 | | | |
|----------------------------------|-------------|--|---|--|---------------------------------------|-------------------|-----|-----|---------------------------|----|---|--|--|--|
| 項目 | 重点 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価項目 | 目標値 | 達成値 | | 達成度 | 評価 | 結果と課題の分析 | 評価 | コメント | 改善方策 |
| | | | | | | | 10月 | 2月 | | | | | | |
| 主体的に学ぶ | 1 | やる気に満ち、自ら進んで学ぶことで、学ぶ楽しさを味わい、資質・能力を高めていく児童の姿 | めざす資質・能力を共有し、児童が自ら学び、他者と協働して、深い学びを創造する授業づくりを推進する。 | ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくりの実践研究を通して、授業改善を推進する。 ・「やりがい 自信 仲間」のサポート」を実感できる働き方改革を推進し、教育の質を高める。 | ・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 | 児童評価 90% | — | 91% | 4 | A | 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくりを研究部を中心に進めた。学年で一単元、自由進度学習の実践を行い、校内で共有し、課題解決に向けて自主的に取り組む児童の育成を目指した。基礎学力の定着と活用力の向上を目指し、朝学習を継続して行った。また、正答率40%未満児童を対象に給食前に個別指導を行った。その成果が出て、6月に行った学力標準調査では昨年度より平均点が上がったと考える。 | A | 40%未満の割合1%は奇跡の数字である。教職員の工夫・努力に感謝したい。その課題克服の物語を学校内外に発信してほしい。 「深い学び」とするためには、コミュニケーション能力や自己肯定感が大切である。ゲストティーチャーとして授業に関わった際に、児童からの質問が途切れず、地域で出会ったときには、気持ちよく挨拶をしてくれ、コミュニケーション能力の高さを感じる。先生が工夫して教材を作成しているところが素晴らしい。 | 今年度の研究を基盤とし、「深い学び」の実現に向けて、学習環境や指導の工夫等をブラッシュアップしていく。 引き続き、基礎基本の定着や個別指導など、指導の工夫を継続していく。 |
| | | | | | ・標準学力調査の達成度(活用) | 全国平均を10%上回る | — | 88% | 2 | B | | | | |
| | | | | | ・正答率40%未満児童の解消 | 40%未満の割合を3%未満にする | — | 1% | 4 | A | | | | |
| | | | | | ・読書活動を積極的に評価したり、お勧めの本を紹介し合ったりする活動を行う。 | 児童評価 95% | 94% | 94% | 2 | B | | 読書推進活動を計画的に進めた。「朝活」と題し、週1回15分間読書する時間を確保したり、本の紹介カードを作成し、朝の会でスピーチを行う活動も取り入れた。教員による読み聞かせも積極的に取り入れ、読書に親しむ時間を確保した。図書室の利用も増えている。 | | |
| ・委員会活動を活性化させ、目標設定やイベントを工夫して実行する。 | 児童評価 85% | 80% | 81% | 2 | B | | | | | | | | | |
| ふるさとを愛する | 2 | 西条小・西条町に誇りと愛着をもつ児童の姿 | 生活科・総合的な学習の時間の系統的な学びを推進する。 | 学校や地域の人・伝統・文化の素晴らしさを実感させる体験活動等の工夫・充実を図る。 | ・学校大好き | 肯定的 回答率 95% | 90% | 95% | 3 | B | 生活科・総合的な学習の時間では、6年間を通じて西条の町や伝統産業である酒造りを軸として系統的な学びを展開している。各学年において西条小学校や西条の町の人や社会、自然等と、自分とのつながりに気付いたり、積極的に働きかけたりする学習を行ってきた。さらに、多様なGTとのつながりを通して、ふるさと西条について多面的・多角的に学ぶ児童の姿を目指している。 | A | ふるさとに愛着をもつ児童の姿は、西条独創教育の根幹である。今後も継続して取り組んでほしい。 酒造りを軸として6年間を通じて系統的・計画的に学びが展開されていることが、高い評価につながっている。 地域への行事に多く参加してもらい、うれしい。引き続き連携して取り組んでいきたい。 西条への愛着を深め、地元に残りたいと思う児童を育ててほしい。 | 今後も、地域との連携を深めながら、酒造りを軸とした系統的な学びを実践し、西条のよさを実感できる体験的な学習の工夫・充実を図る。 児童だけでなく、保護者も学校や地域への愛着を高められるような取組をPTA総務と連携しながら考え、実践する。 |
| | | | | | ・西条への愛着 | 肯定的 回答率 95% | 96% | 95% | 3 | B | | アンケート結果より「学校大好き」の肯定的回答率が低い児童は、「学習が好きではない。」と回答している。個々の課題に合わせた指導をしていく必要があると考える。 | | |
| 教育課程を社会に関く | 3 | 学校の教育目標や経営理念、目指す子供像を教職員・児童・家庭・地域で共有し、目指す子供の姿の具現化を図る。 | 校訓に込められた価値を学校・家庭・地域で共有し、目指す子供の姿の具現化を図る。 | ・児童に仲間と共に学び、生活することのすばらしさを実感させる。 ・児童が自らの成長を実感できる振り返りを定期的に行う。 ・学校教育活動の様子をHP等で定期的に発信する。 | ・「校訓の価値」を共有 | 児童評価 90% | 98% | 98% | 4 | A | 年度初めに、全教職員で「校訓の価値」に照らし合わせて目指す児童の姿を共有した。それを基に、各学年・各学級でも目指す姿を話し合うことで、教職員と児童で目指す姿を共有することができた。また、学期や行事の前には、学級や学年で「どのような姿を目指すのか」「自分はどうなことを頑張ったのか」「どんなところが成長したと思うか」を話し合うようにした。これらの取組により、目指す姿が明確となり、目標に向かって進み成長することができた。今後は、参観日やHP等で発信し、保護者とも共有していきたい。 | A | 保護者アンケート、児童アンケート、教職員アンケートの結果からも、昨年度以上に本年度は成果が上がっていると感じた。今後も、ほめて育ててほしい。 よりよい教育を目指していくためには、保護者がしっかりと関わるのが重要である。保護者アンケートの回答率を高めるための工夫を一緒に考えていきたい。 PTA総務として、PTA活動の取組について、保護者にもっと発信していくべきであった。 | 引き続き、目指す姿を教職員間だけでなく、児童とも共有し、成長している姿をしっかりとほめて価値付ける。また、保護者とも共有できるように発信の仕方を工夫する。授業や行事での振り返りを重視し、自らの成長が実感できるようにする。 |
| | | | | | ・自らの成長を実感できている児童 | 児童評価 90% | 97% | 98% | 4 | A | | | | |

4…目標を上回って達成 3…目標どおりに達成 A…とても適切である B…おおむね適切である
2…目標をやや下回って達成 1…目標をかなり下回って達成 C…あまり適切でない D…全く適切でない (N…判定できない)